

中小企業景況調査(2020年6月)要約版

1 売上げ

2020年6月の売上げDIは、前月(▲46.5)から0.5ポイント上昇し、▲46.0となった。

今後3カ月(6月～8月)の売上げ見通しDIは、前月(▲62.7)から10.4ポイント上昇し、▲52.3となった。

2 利益

利益額DIは、前月(▲54.4)から1.0ポイント上昇し、▲53.4となった。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、前月(▲11.8)から0.3ポイント低下し、▲12.1となった。

仕入価格DIは、前月(▲6.2)から1.9ポイント上昇し、▲4.3となった。

従業員判断DIは、前月(▲20.3)から10.2ポイント低下し、▲30.5となった。

生産設備判断DIは、前月(▲25.8)から5.9ポイント低下し、▲31.7となった。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

<調査の要領>

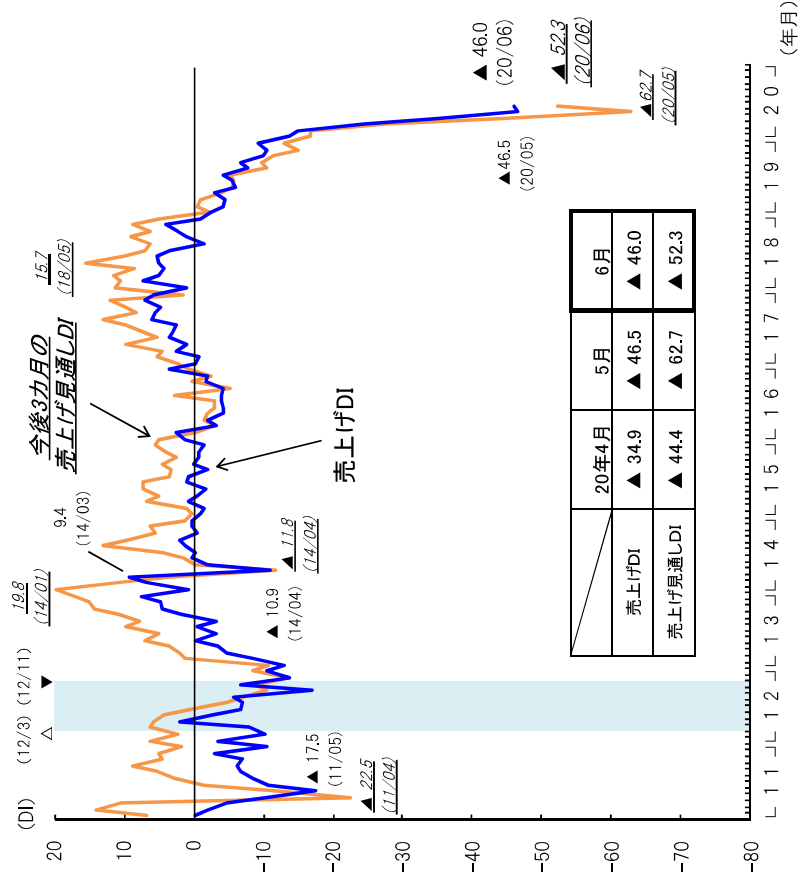
調査時点	調査対象
2020年6月中旬	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏451社、中京圏143社、近畿圏306社)
有効回答企業数	業種構成: 製造業605社、建設業74社、運輸業50社、卸売業171社
回答率	631社
	70.1%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel: 03-3270-1704 (担当: 小針、藤井)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フイナンシャルシティノースタワー

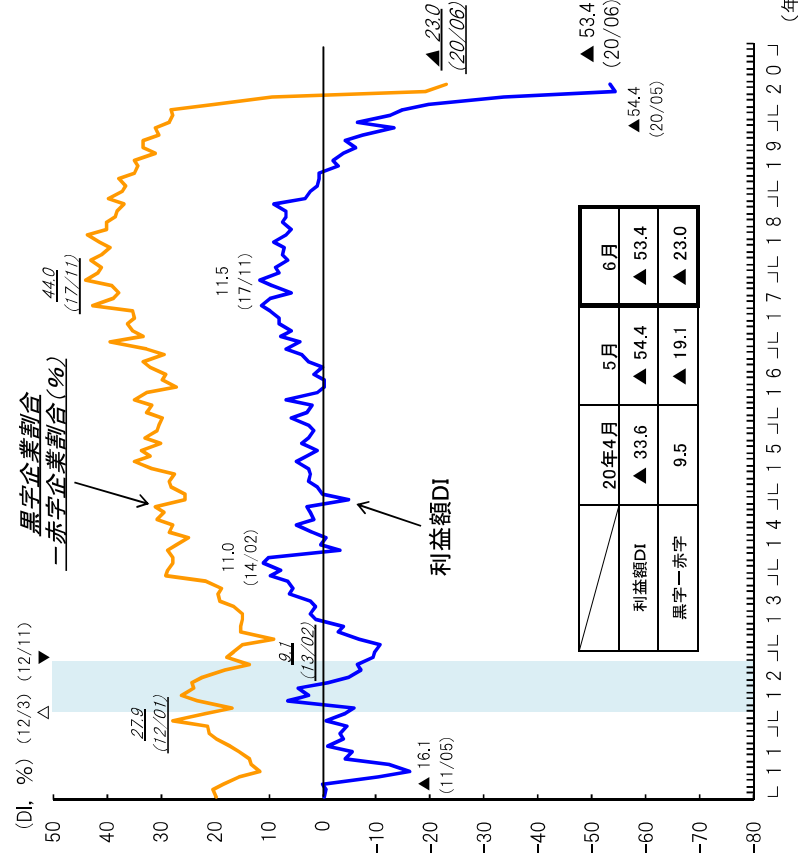
- 売上げDI(「増加」―「減少」)は、▲46.0と、前月(▲46.5)から0.5ポイント上昇した。
- 売上げ見通しDI(「増加」―「減少」)は、▲52.3と、前月(▲62.7)から10.4ポイント上昇した。
- 利益額DI(「増加」―「減少」)は、▲53.4と、前月(▲54.4)から1.0ポイント上昇した。
- 黒字企業割合―赤字企業割合は、▲23.0と、前月(▲19.1)から3.9ポイント低下した。

図一 1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」―「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」―「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャド―部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

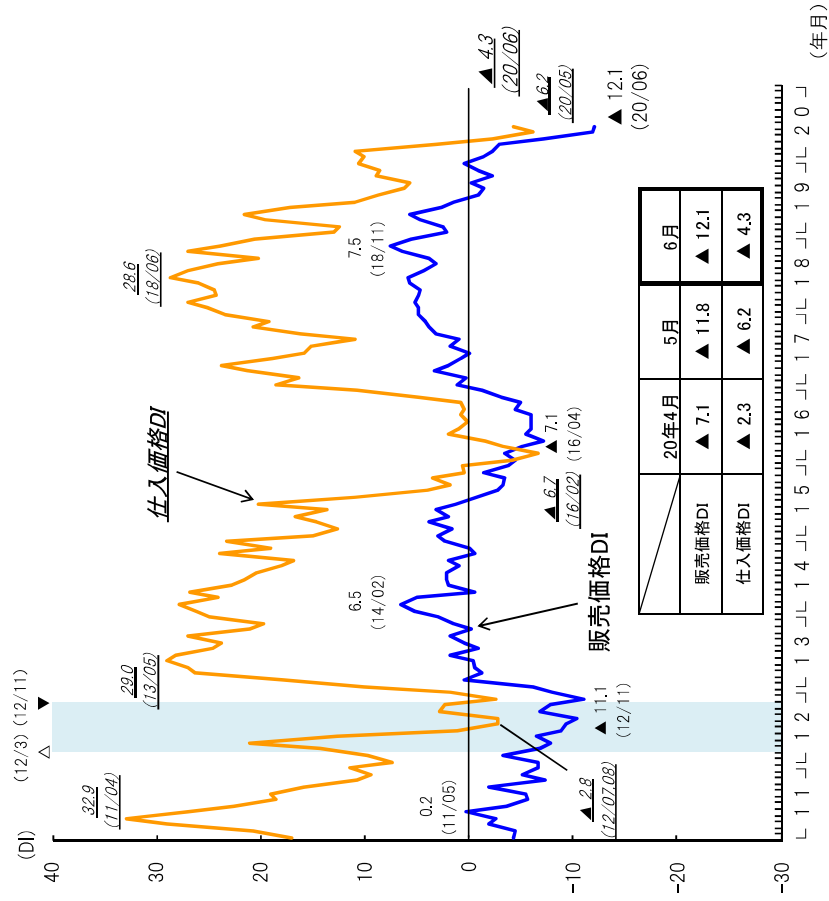
図一 2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」―「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

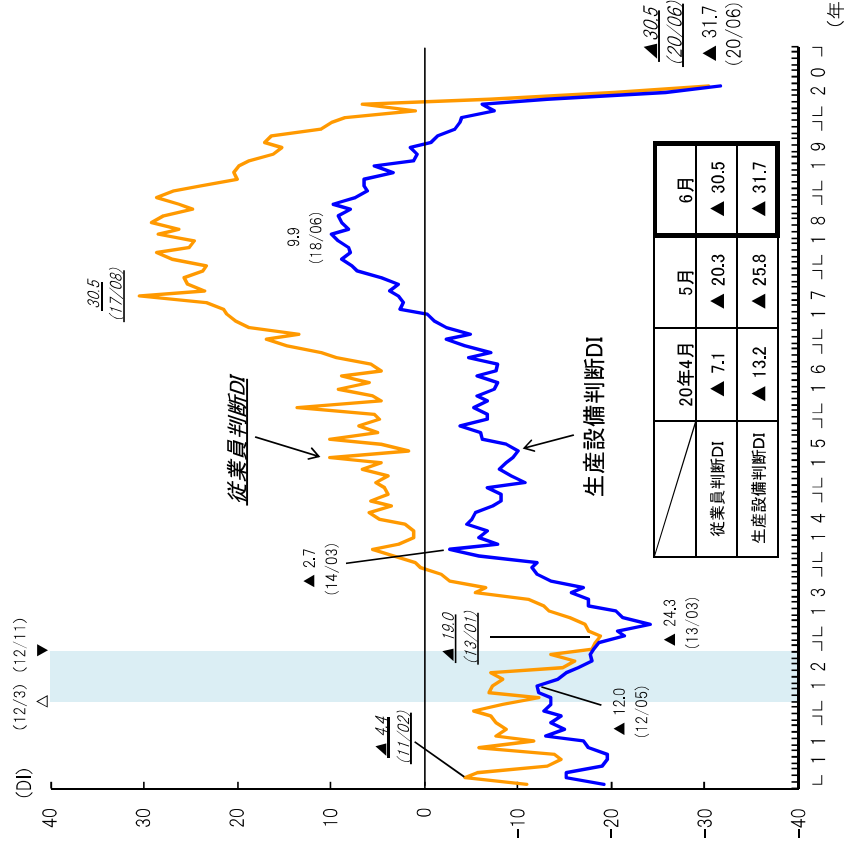
- 販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲12.1と、前月(▲11.8)から0.3ポイント低下した。
- 仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲4.3と、前月(▲6.2)から1.9ポイント上昇した。
- 従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲30.5と、前月(▲20.3)から10.2ポイント低下した。
- 生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲31.7と、前月(▲25.8)から5.9ポイント低下した。

図一三 販売価格、仕入価格の推移



- (注) 1 販売価格DIは前月比で「低下」-「上昇」企業割合。
 2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

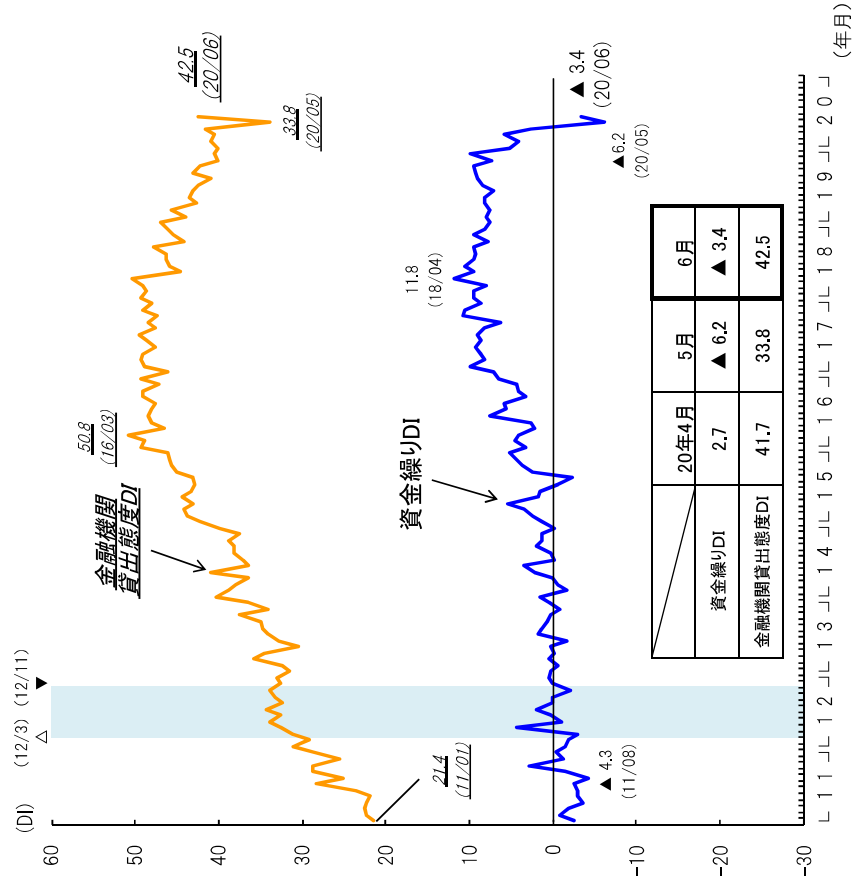
図一四 従業員状況、生産設備の判断



- (注) 1 製造業の数値。
 2 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合 (季節調整値)。
 3 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合 (季節調整値)。

- 資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、▲3.4と、前月(▲6.2)から2.8ポイント上昇した。
- 金融機関貸出態度DI(「緩い」-「厳しい」)は、42.5と、前月(33.8)から8.7ポイント上昇した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。
 2 金融機関貸出態度DIは「緩い」-「厳しい」企業割合。